

戦略・グローバル研究に関する第9回国際会議2025

「産業発展と社会変革：日本とアジアの未来への架け橋」

■日時：2025年7月19日(土)・20日(日) 09:00～18:15

■会場：九州国際大学（福岡県北九州市八幡東区平野1-6-1）

■参加費：無料（先着120名）

■主催：九州国際大学国際センター

インドネシア大学戦略・グローバル研究科

※本国際会議のパネルセッションは原則として英語で行われますが、両日の基調講演は日本語で実施され、英語への逐次通訳が付きまます。一般市民の皆さまにもご参加いただける貴重な機会です。どうぞ奮ってご来場ください。

基調講演

7月19日(土) 09:15-10:30（3号館3501教室）

◆ 八田達夫 教授（アジア成長研究所 理事長）
「北九州空港が牽引する北部九州の地域発展と経済成長」

◆ イ・クトゥット・スラジャヤ 教授（インドネシア大学 戦略・グローバル学研究科）
「時代精神の中のソトと寿司：インドネシアと日本の関係における言説と現実」

7月20日(日) 09:05-10:20（KIUホール）

◆ 中村廣秀 氏（AAI会長／ハサヌディン大学 アドバイザー）
「パートナーシップを超えて：持続可能な成長に向けた日本とインドネシアの経済的相乗効果の推進」

◆ 大築圭 教授（ユトレヒト大学 国際開発学）
「持続可能な都市開発の最前線」

◆ 大築圭 教授（ユトレヒト大学 国際開発学）
「持続可能な都市開発の最前線」

■お問い合わせ先：九州国際大学 国際会議事務局

電話：093-671-8910（代表）

E-mail: info-sgs2025@cb.kiu.ac.jp（国際会議事務局）

* 本国際会議に関する詳細情報は下記QRコードからご確認ください。



■ 名義後援 インドネシア共和国大使館、福岡県

■ 協賛 北九州市、（公財）北九州観光コンベンション協会

※本国際会議における2つのパネルは、科研費（基盤研究（B））23K25100の助成を一部受けています。



戦略・グローバル研究に関する第9回国際会議2025 「産業発展と社会変革：日本とアジアの未来への架け橋」 基調講演者プロフィール

2025年7月19日（土）

八田達夫 教授（アジア成長研究所 理事長）

公共経済学や都市経済学を専門とする経済学者。
現職は、日本学士院会員であると同時に北九州市にあるアジア成長研究所の理事長。
小倉高校、国際基督教大学を卒業後、ジョンス・ホプキンス大学で博士号取得。
その後、オハイオ州立大学助教授、ジョンス・ホプキンス大学教授、大阪大学名誉教授、東京大学教授、政策研究大学院大学学長等を経て、現職。経済産業省電力・ガス取引監視等委員会の初代委員長を務められるなど、長年にわたり経済発展の研究と政策提言に尽力されています。



Prof. Dr. Tatsuo Hatta
Asian Growth Research Institute



Prof. Dr. I Ketut Surajaya, S.S., M.A
Universitas Indonesia

イ・クトゥット・スラジャヤ (I Ketut Surajaya) 教授
（インドネシア大学 戦略・グローバル学研究科）

インドネシア大学人文学部歴史学科の教授であり、日本史および日本研究の専門家です。1976年にインドネシア大学文学部を卒業し、1979年に一橋大学で社会学・社会史の修士号を取得、1982年には同大学で博士課程を修了されました。同年、インドネシア大学からも博士号を授与されています。彼は、インドネシア日本研究学会の元会長として、日本語教育と日本研究の発展に尽力し、2016年には日本政府より旭日中綬章を受章しました。また、彼の研究は日本占領期のインドネシア独立運動の過激化など、歴史的テーマに及び、学术界で高く評価されています。

2025年7月20日（日）

中村廣秀 氏（AAI会長／ハサヌディン大学アドバイザー）

AAI株式会社およびA-WINGインターナショナル株式会社の代表取締役会長として、アジア・アフリカ地域への事業展開を牽引する実業家です。2007年に小型風力発電事業に着手し、インドネシアやバングラデシュなどで再生可能エネルギーや廃棄物処理、医療、教育分野のプロジェクトを推進されています。また、JICAの国際協力事業にも参画し、現地の持続可能な開発に貢献しています。多文化共生と人材育成を重視し、現地人材のCEO登用など、地域社会との連携を深められています。



Mr. Nakamura Hirohide
A-WING Group



Prof. Dr. Kei Otsuki
Utrecht University

大築圭 教授（ユトレヒト大学 国際開発学）

開発社会学および人間地理学を専門とし、東京大学で学士号と修士号を取得後、ワーヘニンゲン大学で開発社会学の博士号を取得されました。国連大学で国際協力と開発の研究員を務めた経験もあります。同氏の研究は、持続可能な開発における社会的公正と正義に焦点を当て、特にグローバルな持続可能性移行と地域社会の福祉との関係性を探求されています。現在は、モザンビークにおける「グリーン」資源開発やインフラ整備、インドネシアの森林都市開発など、持続可能性と社会的公正の交差点に関する研究プロジェクトを主導されています。

※本国際会議のパネルセッションは原則として英語で行われますが、両日の基調講演は日本語で実施され、英語への逐次通訳がつきます。一般市民の皆さまにもご参加いただける貴重な機会です。

どうぞ奮ってご来場ください。